

れんごう中越地協

第859号2015.6.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



2015アジア・アフリカ救援米運動に参画

快晴に恵まれ、天神町でどろんこ田植え

大人と子ども総勢46名がどろんこになって手植えを体験



アジア・アフリカ救援米運動中越地区のどろんこ田植えが、5月23日(土)に長岡市天神町の田んぼで行われた。快晴に恵まれた初夏を思いやるような中、大人子供総勢46名が参加し、約15アールの田んぼに1時間半近くかけてコシヒカリ苗を手植えた。秋には、手刈り体験が予定されている。

実行委員会が8時30分前から1時間くらいかけてどろんこ作業を完了した。女性は初めごろ押ししたのは初めでも押しきれない。予定より早めに準備が整い記念撮影後、開会式が始まった。火山副実行委員長(連合中越副議長・国民市民担当)が司会進行役を兼ね挨拶を述べ、続いて保苅総合生協中越センター長、食とみどり水を守る長岡地区労働市民会(以下食みどり)の五井さんから挨拶があった。また、今年も早くアジア・アフリカ救援米運動に協力いただいた反町さんから挨拶をいただいた。最初に、田植え指導

が整い記念撮影後、開会式が始まった。火山副実行委員長(連合中越副議長・国民市民担当)が司会進行役を兼ね挨拶を述べ、続いて保苅総合生協中越センター長、食とみどり水を守る長岡地区労働市民会(以下食みどり)の五井さんから挨拶があった。また、今年も早くアジア・アフリカ救援米運動に協力いただいた反町さんから挨拶をいただいた。最初に、田植え指導

を五井さん(食とみどり)が行い、子供たちも裸足になってどろんこ田植えが始まった。小さな子供はひざ下まで田んぼにつかり一生懸命植えてた。恐る恐る入る大人もいる。滑ってお尻に泥を付けた人もいた。それぞれが、家族や友達と会話しながら楽しそうに豊

作を願った田植えと間ほどで約15アールの田植えが完成した。田植えを終えた参加者は公民館で昼食タイムに入った。トン汁が60人分用意されたが、みんながお替りし食みどりの五井さんによるお米と食べ物クイズを行って上位5名に図書券が渡された。また、バケツ稲セットとして「種」から栽培するものとコシヒカリ苗を配り秋に持ち寄ってほしいと呼び掛けた。秋の稲刈り編は9月26日頃を予定している。ぜひ、稲刈りも体験してほしい。

全国行動
格差是正を訴える
「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーン第3弾全国行動が、5月7日から展開され中越地協エリアでは、十日町支部が18日午前9時から市街地を街宣しJR十日町駅前店舗、バス待ちの方などにポケットティッシュを配布した。その後津南町まで足を延ばしアピールした。その後八箇峠を越えて南魚沼支部にバトンタッチした。午後からは、南魚沼支部が市内を回り、道の駅「南魚沼雪あかり」などでアピールした。翌19日は北魚沼支部が担当し、市内のショッピングセンター近くでティッシュ配布し、午後は、引き継いだ小千谷支部が小千谷市内を回った。最終日の20日は、午前中は長岡市内川西地域、午後からは、見附市内と長岡市栃尾地



新潟市が「子育てすこやか商品券」を発行するなど、全国各地でプレミアム商品券の発行が行われています。これは国の地方創生事業の「地域住民生活等緊急支援助交付金を活用しているものがほとんどです。一昔前の「地域振興券」と比べれば自治体が工夫しやすくなっているものの、あくまでも一過性の交付金に過ぎません。このことだけでなく、今の地方創生事業は地域の持続可能な発展に繋がるか疑問です。▼片山善博元総務相と小田切徳美明治大教授との対談(「世界」5月号)でも「地域づくりに必要なものを考えてみると、第一にワークシヨップなどの内発性、第二にそれを支える予算があり、かつその使途が100%自由であること、第三に予算が単年度主義ではなく長期性を持つていること」です。今回の地方創生の交

東蔵王2
副議長
横澤勝之
付金にはこの三要素のいずれも反映されていない」と批判されています▼この対談の中では「あるべき地方創生の対抗軸は人材であり教育です」と明確に指摘されています。そういった意味で市民協働による街づくり、人材育成を進めてきた長岡市にとつてチャンスだともいえます。対談も「地域にとつては実に慌ただしく窮屈な地方創生政策ですが、地域は自らの課題を点検し、可能な範囲でそこに予算を取り込んで前進させたい」と思っています。(中略)しっかりと考えて、望ましい方向へ実践を重ねていくことが大切です。隣は商品券が出たのうちに出不ないのかといった議論に陥らずに、市民としての当事者意識を持つて地域に関わっていくことが求められているようです。

サラリーマン川柳(「昔はな」そう言う上司 八つ下) (あす走ろう 明日にしようで15年) (回転寿司 少し自宅で 食べて行く) (井戸端に 種をまく人 咲かす人)

